

■【トピックス】

森会長辞任！



東京オリンピック組織委員会の森会長が自身の失言の責任を取って辞任しました。今どき上場企業ではジェンダーの基づく差別を行えば厳しく糾弾されます。この現実を高齢世代には理解することが難しいようです。

さらに最近の商業主義に染まったオリンピックはスポンサーの意向に逆らうことはできません。スポンサーの嫌う発言を軽々しくしてしまったところに森前会長の最大の失敗がありました。

■【今月のキーワード】

コンテナ・リース

コンテナ・リースは海運用のコンテナを対象としたオペレーティング・リースで、航空機とか船舶を対象にしたリースと同様に節税商品として組成されたものです。特長としては比較的少額（最小1口1,000万円程度から）から出資できる点が挙げられます。リース期間満了後にリース先の海運会社がコンテナを買受ない場合には中古市場で売却することになります。その際、運賃が値上がりしている時ほど高く売れることになります。足元のバルチック海運指標は現在、高騰しています。

■【ビジネス・アイ】

コンテナ運賃高騰！

社長 「ところで、去年の後半から輸出用のコンテナ運賃が高騰して大変なんだよ。国内はコロナで売上が伸びないから輸出に期待したいんだけど、こども運賃が上がるよね」

花野 「そうですね。他社でも困っていますね」

社長 「欧米では、作業員がロックダウンで港のコンテナの荷役作業ができなくて、コンテナが港に溜まっているとか、いろいろ原因があるみたいだけど早く元に戻ってほしいね」

花野 「ごもっともですね。コンテナに関しては目途が立たないのが現状のようですね」

社長 「本当に困ったことだよ」

花野 「ところで、コンテナなんですけど、その所有者は誰かご存じですか？」

社長 「コンテナって海運会社のものだと思っていたけどね」

花野 「実は半分以上がリースでなんですよ」

社長 「そうなんだ！」

花野 「航空機のオペレーティング・リースのように節税商品の対象となっているんですよ」

社長 「そういえば、前にそんな売り込みがあったね」

花野 「コロナで航空機リースは大変なことになっていますが、コンテナ・リースはコンテナが不足していることもあって状況が違うようです」

社長 「航空機とは対照的だね。」

花野 「この手のスキームは、中古市場で売れないと最後に損失がでますからね」

■【今月の1冊】

『大分断』

エマニュエル・トッド 著
PHP新書 ¥900

第2次世界大戦後、先進国は豊かになり、多くの人が高等教育を受けられるようになりましたが落とし穴がありました。

多くの人々が教育を受けることにより学力格差が明らかになりました。知的に優秀なエリートたちが支配層として君臨し、社会に分断が生まれました。一見すると良いと思われことが社会の分断を生むという矛盾が生じています。



■【編集後記】

人生で初めて大腸カメラを経験しました。以前に経験した胃カメラよりは楽でしたが、体内に異物を入れるのは、決して気持ちのいいものではありませんね。幸い大腸に異常はなく、自分自身のキレイな大腸をみる事ができました。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.168(毎月1日発行)

●定価：2,400円/年 ●発行日：2021.3.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦丸ビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808